

# (A-6) ゆらゆら椅子

出願番号（公開番号）

特願第7082478号

出願日

2017/11/30

登録日

2022/5/31

## 本技術の採用イメージ



◆ 使用者の好みや執務状況等に応じて

「ゆらゆら可能」状態から  
「ゆらゆら不能」状態に  
切り換え調節可能な椅子



◆ ワーカーの心身の健康維持や知的生産性を向上させ、オフィス環境作りに大きく貢献できる椅子を実現！

従来のゆらゆら椅子は・・・

体に追従してゆらゆらする椅子

従来の不具合

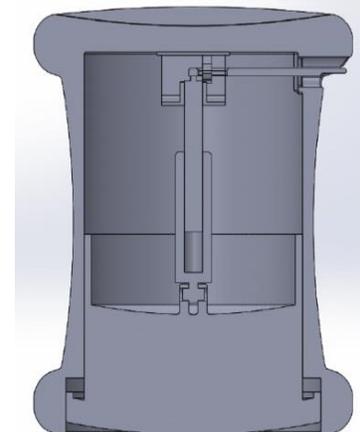
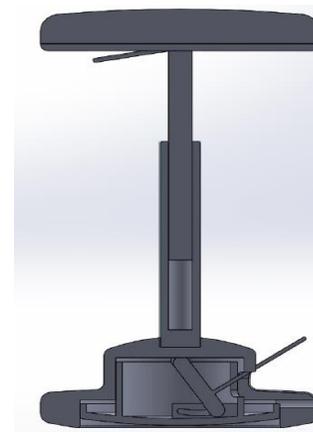
使用者が身体を傾けるとそれに追従して常に傾動するため、座を安定させた状態で作業を行いたい場合に対応できない

本発明は、

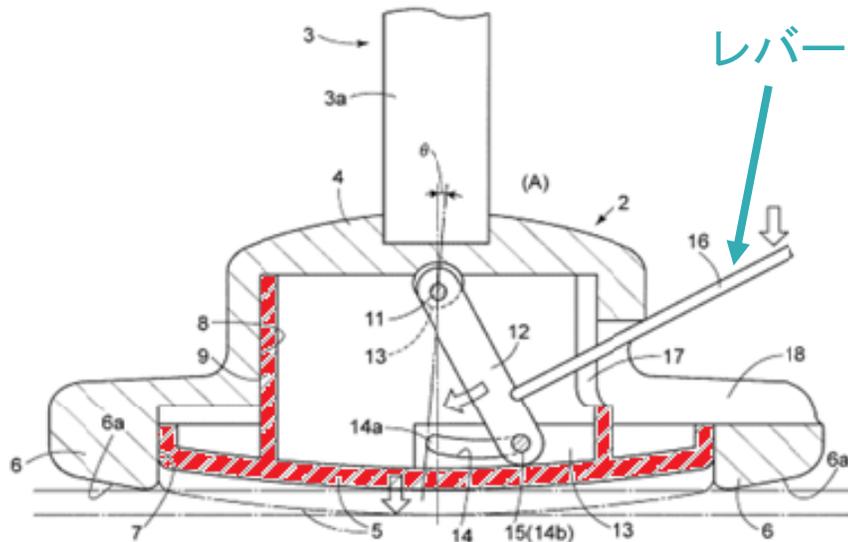
「ゆらゆら状態」と「固定状態」を切り替え可能

◆床に載る接地部と人が腰掛ける座部とを有しており、接地部が任意の方向に傾動することによって、使用者の動きに追従して軸心を任意の方向に傾動させることが可能な構成。

◆レバー等を操作することにより、傾動可能な状態と傾動不能な状態との変更が可能。

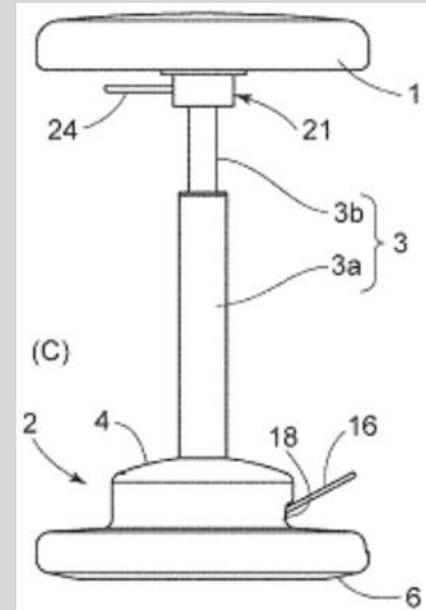


## 具体的な構造について



- ◆レバー操作によって、リンク 1 2 が鉛直方向に回転すると、下ピン 1 5 は下降動。
- ◆下ピン 1 5 によって昇降体 5 が下向きに押されて、昇降体 5 の下面が外側部分 6 の下方に突出。  
⇒よって、椅子は揺動可能状態になる。

昇降体 5 が上昇  
傾動不能状態



昇降体 5 が下降  
傾動可能状態

